

ひだまり保育園

令和4年度 事業報告書

1. 保育理念

愛を育み 豊かな心を育てる

2. 保育目標

○よく食べ、よく眠り、元気な子ども

ゆったりとした環境の中で安定した生活を送る。

○心も身体も健やかで遊びを楽しむ事ができる子ども

信頼できる大人に見守られ、安心する事で色々な事に興味を持つ。

○思いやりのある子ども

様々な経験を通し優しく思いやりの心をもつ。

3. 保育園の運営

(1) 利用定員

利用定員	0歳児	1歳児	2歳児	合計
	3名	4名	5名	12名

(2) 園児数推移

	0歳児	1歳児	2歳児	合計
4月	0	3	4	7
5月	0	3	4	7
6月	0	3	3	6
7月	0	3	3	6
8月	0	3	3	6
9月	1	3	3	7
10月	1	3	3	7
11月	1	3	3	7

	0歳児	1歳児	2歳児	合計
12月	1	3	3	7
1月	1	3	3	7
2月	1	3	3	7
3月	1	3	3	7

- ・0歳児の入園が少なく、1.2歳児も定員数を下回っていた為、全体の人数がかなり減少した。
- ・入園を検討する為の見学者の人数も例年より少なかった。

(3)利用園児の保育時間及び提供する日

保育標準時間 午前7時30分～午後6時30分まで（11時間）

保育短時間 午前9時00分～午後5時00分まで（8時間）

月曜日～土曜日開園 土曜日は仕事に行かれる方のみ新田保育園で保育を行う。

3. 行事報告

4月	1日（金）	進級のお祝い
5月	2日（月） 17日（火）	子どもの日の集い 内科健診
6月	3日（金） 28日（火） 29日（水）	虫歯予防の集い 保育参観日（1.2歳児前半） 保育参観日（1.2歳児後半）
7月	7日（木） 25日（月）	七夕の集い 夏まつりごっこ
9月	30日（金）	ごっこ遊び
10月	21日（金）	ミニ運動会
11月	8日（火） 28日（月）	歯科検診 内科健診
12月	6日（火） 13日（火） 15日（木） 21日（水）	おもちつき 保育参観（0.1歳児） 発表の日（2歳児） クリスマス会
1月	11日（水）	お正月遊び
2月	3日（金）	節分の集い（豆まき）
3月	3日（金） 10日（金） 11日（土）	ひなまつり会 お別れ会 卒園お祝いの会（2歳児の保護者参列）

- ・途中入園児は初めての登園時に入園のお祝いを行った。
- ・毎月1回身体測定と避難訓練を行った。
- ・お誕生月の園児がいる月はお誕生日会を行った。
- ・新型コロナウイルスの影響で縮小した活動もあったが、園児一人ひとりが楽しさや満足感を味わう事ができていた。

4. 保育内容

年齢	内容
0歳児	・丁寧に関わる中で愛着関係をしっかりと築き、思いを受け止めながら過ごす事ができた。 ・発達段階を職員間で共有し、離乳食、身体的成長過程、発語の援助を行った。 ・要求に応えつつ、生活のルーティーンは出来る限り崩さないよう努め、家庭的な雰囲気の中で安心して生活する事が出来た。
1歳児	・一人ひとりの発達段階に合わせて関わり、自分でできた喜びを味わえるような声掛けを意識した。その結果、気持ちを思いきり表現し、安心して過ごせる環境を作る事が出来た。 ・友達同士の関りを見守り、保育者が正しい言葉で接する事で言葉の習得にも働きかけることが出来た。
2歳児	・日々の生活や遊びの中で、友達と言葉のやり取りを楽しみながら関わる姿を見守った。 ・個々の発達に合わせた取り組みを実施する事で「できた」という達成感を感じながら身辺自立に繋がるよう取り組んだ。 ・戸外へ積極的に出かける事で自然物に触れたり、季節の変化を感じられるように意識した。 ・様々な行事や遊びに対して楽しみながら取り組めるよう前向きな言葉掛けを行った。

- ・国の保育指針に則り、全体的な計画、指導計画を作成し保育にあたった。
- ・月次計画、週次計画、日々の計画は年齢にあった物を策定した。
- ・期、月、週ごとに自己評価を行い、日々の保育の見直しをする事で、保育内容を充実させ保育者の質の向上にも繋がった。
- ・新型コロナウイルス感染症の予防の為、なるべく密にならない様、コーナ分けをしながら少人数の空間を作るように努めた。

4. 給食

- ・楽しい雰囲気の中で食事をしながら、食べる事を喜び、食に興味を持つようになった。
- ・食前の手洗い・消毒・食前食後のあいさつなどで習慣になるよう声掛けを行った。
- ・食べ物や喉につめないよう、食材の大きさ、飲み込みには全職員で十分気を付けた。

5. 午睡

- ・子どもの健やかな成長を促し、心身の疲れを癒すために毎日、午睡を行った。午睡の時間については、子ども一人ひとりの状況に合わせて柔軟に対応した。
- ・乳幼児突然死症候群のリスクが高い年齢の為、予防、対策として0歳児は5分おき、(センサー装着) 1.2歳児は10分おきに呼吸、鼓動、体勢の確認を行うよう、全職員で共通理解し注意した。

6. 保育設備

- ・施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を適切に保持し、施設設備の適正管理に努めた。また、保育中の事故防止には細心の注意を払うとともに用具や玩具などの安全点検を定期的に行った。
- ・室内など狭い場所で運動をする際は、危険な箇所をマットなどでガードし打撲等の危険を回避するよう努めた。

7. 防災計画

- ・地震、火災、水害等の災害に備え備品の確認を行うとともに、外部からの不審者等の侵入防止の為に施設整備や、不測の事態に備えて訓練を行った。

8. 衛生管理

- ・新型コロナウイルス感染症等の流行により、手洗い、検温、消毒を徹底し、保育室の清掃及び清潔の保持に努めた。

9. 振り返り

今年度も子ども達の健康と安全を第一に考え、保護者の方が安心して預けられる保育園を目指し、保育の質の向上と安全面の向上に努めてまいりました。

子ども達は家庭的な温かい雰囲気の中でゆったりと安心して過ごす事で、欲求が満たされ、健やかに育つ事が出来たと感じています。

コロナ禍で公園へ行く機会は少なかったのですが、園舎横のスペースを使って、たくさん身体を動かす遊びを取り入れました。また、園や近隣の方が育てている植物を観察し収穫する事で、虫や木の実などの自然物にたくさん触れたり、土に触るなど貴重な経験をする事が出来ました。

保護者の方には、日頃から園での子どもの様子を伝えたり、家庭での様子を聞くなどしながら、信頼関係を築く努力を行いました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する為、日々の消毒や清掃を徹底する事で、コロナの陽性者は数名出ましたが、拡大する事なく日常の園生活を送る事が出来ました。引き続き職員間で情報を共有し、子ども達にとって最善の利益になるよう努力をしていこうと思います。

来年度は職員の専門性を活かし、地域の子育て支援にも貢献したいと思っています。